

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021 年度第 2 回「シグマ」調査専門委員会
会議種別	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 <input type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG 等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022 年 3 月 31 日(月) 13:30~17:30
開催場所	オンライン開催
参加人数	23 名 深堀智生(主査), 執行信寛, 日野哲士(幹事), 合川正幸, 岩本修, 岩元洋介, 片渕竜也, 木村敦, 木村健一, 木村真明, 久語輝彦, 熊田博明, 柴田理尋, 千葉敏, 中山梓介, 日比宏基, 平山英夫, 福田茂一, 堀順一, 山野直樹, 吉岡研一(委員), 今野力, 多田健一(講演者)
議事	<p>1. トピックス 岩本委員および JAEA 今野氏、多田氏より JENDL-5 の概要、原子炉ベンチマークテストおよび遮蔽ベンチマークテストについて紹介頂いた。</p> <p>2. タスクフォース進捗報告 (1) 核データニーズ調査 核データ要求リストサイトでは 2022 年度も受付を継続することを確認するとともに、本委員会 Web に掲載している宣伝ポスターが紹介された。 (2) 人材育成タスクフォース 初級(理解するのにそれほど高度な数学を必要としない)~中級(学部で量子力学を勉強した学生が理解できる)レベルの教科書作成状況が報告された。 (3) ロードマップ作成タスクフォース 「核データロードマップ報告書」暫定版についての核データ分野専門家によるレビューコメント、および今後の計画が報告された。</p> <p>3. 委員会活動報告 JENDL 委員会、核データ部会より 2021 年度活動報告を共有頂いた。</p> <p>4. 活動報告 本委員会の 2021 年度活動報告および決算報告が紹介され、一定期間のコメント受付後、学会に提出することで了承された。</p> <p>5. 全体討論 核データ人材の裾野を広げる策が議論され、PR 対象を高校生まで広げる、現場を見せる、各部会と連携してコンテンツを検討する、などの意見があった。</p>
備考	

2022年4月15日

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第1回「シグマ」調査専門委員会 ロードマップ作成タスクフォース
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG等具体的に記入のこと
開催日時	2022年1月24日(月) 13:30~14:00
開催場所	日本原子力研究開発機構
参加人数	4名 中山梓介, 木村敦(委員), 国枝賢 湊太志(ロードマップ作成分担者)
議事	<p>原子力機構核データ研究グループに所属するロードマップ作成関係者で、今後のロードマップ作成の進め方について、議論した。</p> <p>1. ロードマップ作成報告書の完成版の分量について 分量は現在までに作成している暫定版(A4 20 ページ程度)から大きくは増やさない方針とした。</p> <p>2. ロードマップ作成報告書の完成版の公開方法について 報告書全体は JAEA-Review ないし日本原子力学会和文論文誌に投稿する方針とした。また、上記とは別に概略版を日本原子力学会誌に投稿する方針とした。査読プロセスや出版までの時間を踏まえ、2023年度中に報告書を公開するためには、10月ごろまでには投稿する必要がある。そこから考えて、7月中には完成版のドラフトを作成する必要があることを確認した。</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021 年度第 1 回「シグマ」調査専門委員会
会議種別	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 <input type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG 等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021 年 12 月 9 日(月) 13:30~17:30
開催場所	オンライン開催
参加人数	18 名 深堀智生(主査), 執行信寛, 日野哲士(幹事), 合川正幸, 岩本修, 岩元洋介, 梶野敏貴, 片淵竜也, 木村敦, 久語輝彦, 柴田理尋, 中山梓介, 日比宏基, 福田茂一, 吉岡研一, 渡辺幸信(委員), 高木直之, 西山潤(講演者)
議事	<p>1. トピックス 都市大高木先生、東工大西山先生から、宇宙用原子炉、原子力電池、RI 製造など、発電以外の原子力用途に関する最近の研究内容について講演頂いた。</p> <p>2. 2019-2020 活動報告書について 原子力学会誌に投稿を予定している 2019-2020 年度の「シグマ」調査委員会活動報告書案が紹介され、特にコメントなく、投稿を進めることとなった。</p> <p>3. タスクフォース進捗報告 (1) 核データニーズ調査 核データ要求リストサイトに、2021 年 2 月以降、${}^6\text{Li}$, ${}^7\text{Li}(p,n)$ 中性子エネルギースペクトルなど、計 4 件のリクエストがあったことが報告された。</p> <p>(2) 人材育成タスクフォース 初級(理解するのにそれほど高度な数学を必要としない)~中級(学部で量子力学を勉強した学生が理解できる)レベルの教科書作成に着手したことが報告された。</p> <p>(3) ロードマップ作成タスクフォース 2020 年度に作成した「核データロードマップ報告書」の暫定版について、執筆を分担頂いた、大学及び原子力機構に所属する 9 名の核データ分野の専門家によるレビュー・見直しを行っている状況が報告された。</p>
備考	

2022年4月15日

専門委員会開催報告

会合名	2021年度「シグマ」調査専門委員会 ニーズ調査タスクフォース
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021年12月8日(水) ~ 2021年12月9日(木)
開催場所	メール
参加人数	4名 執行信寛(幹事), 合川正幸, 岩元洋介, 木村健一(委員)
議事	<p>核データ要求サイトについて議論を行った。</p> <p>1. 受け付けた核データに関するリクエストの確認 2021年1月から11月までに受け付けた核データに関するリクエストの内容を確認した。</p> <p>2. 核データ要求サイトの周知 核データ要求サイトの周知方法として、原子力学会のwebへの配置や原子力学会以外の場で使えることを目指した簡単なチラシについて議論した。大まかなデザインとしてσの文字を大きく配置することとし、チラシを目立たせるために若干大仰な表現を用いることとした。</p>
備考	

専門委員会開催報告

会合名	2021 年度「シグマ」調査専門委員会 人材育成タスクフォース
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2021 年 10 月 11 日(月) ~ 2021 年 10 月 13 日(水)
開催場所	メール
参加人数	5 名 深堀智生(主査), 執行信寛, 日野哲士(幹事), 片渕竜也, 中山梓介(委員)
議事	<p>教科書作成について議論を行った。</p> <p>1. 原稿作成方法の確認 MathJax を使ったの原稿作成、Web での表示に問題がないことを確認した。</p> <p>2. 説明内容レベルの確認 初級(理解するのにそれほど高度な数学を必要としない)および中級(学部で量子力学を勉強した学生が理解できる)レベル向けの数式および図の挿入程度などの意識合わせを行った。 初級のレベルとして、大学初年の学生が理解できる程度が適切であり、数式は多少はあった方が理解が進むと考えられること、数式を失くしてしまうとただのお話になってあまり役に立たない、との意見があった。また、抽象的なものにならないようにするために、具体的な数字を入れた order estimation はなるべく入れること、初級編は中級につなげるための概念理解に重点を置くことなどの方針が議論された。</p>
備考	

専門委員会開催報告

会合名	2021 年度第 1 回「シグマ」調査専門委員会 タスクフォースリーダー会合
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2021 年 10 月 11 日(月) 13:30~14:45
開催場所	オンライン開催
参加人数	5 名 深堀智生(主査), 執行信寛, 日野哲士(幹事), 片渕竜也, 中山梓介(委員)
議事	<p>各タスクフォースおよび委員会活動について議論した。</p> <p>1. 核データニーズ調査タスクフォース 今年度の活動として、宣伝ポスターの作成、炉物理部会や放射線工学部会への宣伝などを進めるとともに、核データ要求リストサイトにリクエストが来た場合は、JENDL 委員会の核データ測定戦略検討 WG、国際戦略 WG にも通知することとした。また、将来的に SNS の活用も検討することとした。</p> <p>2. 人材育成タスクフォース 教科書作成について、最初のバージョンの執筆を進めること、HTML ベースで、数式には MathJax を使用すること、将来的に JavaScript でインタラクティブにグラフなどを動かせるようにすること、などの方針を決定した。</p> <p>3. ロードマップ作成タスクフォース 今後の活動として、ロードマップ著者に内容の確認および担当箇所の改訂を依頼すること、TF 会合を来年 1 月ごろ開催すること、改訂版について本委員会および核データ部会・炉物理部会・放射線工学部会に確認を依頼し、2022 年 7 月ごろまでに最終版のドラフトを作成、最終版ロードマップは学会誌、和文論文誌、JAEA-Review などに投稿することとした。</p> <p>4. 委員会活動 学会誌への報告は通常の報告とすること、本委員会の委員にも確認頂くこととした。また、全体会合は 12 月中旬から 1 月頃の開催とし、トピックスとして宇宙用原子炉など、活気のあるテーマの講演をお願いすることとした。</p>
備考	